

市民のFACET 横顔

子どもたちに創造力を

元大阪芸術大学教授

末延國康さん

今秋、開催される「アートの森」創作ひろば」を発案し、自ら講師を務める末延國康さんは、市の文化振興計画の策定や推進に関わりながら、アートと自然の関係を活かした造形活動に取り組んでいます。

末延さんは、中学校の美術教師を退職後、武庫川女子大学、大阪芸術大学で教鞭をとり、絵画療法で、子どもの絵の心理を読み取ることを研究しています。

学校では、野外で写生を行う機会が少なく、通常の授業の中では自由な創作ができないと限界を感じていたそうです。

そこで、昨年5月、大学や中学校の美術の先生、学生たちに声をかけ、身近な材料や用具を使って自由な創作を楽しむ同イベントをスタートさせました。

実際、参加した子どもの多くは、ゆったりとした時間の中で、緑豊かな滝畑の解放感も手伝い、感性や才能を引き出されていきます。

末延さんは、「私の

愛する自然豊かな滝畑で、アートを通じて子どもたちの郷土愛を育てたい」とのこと。

さらに、「親子で参加し、日ごろできない創作を楽しんでほしい」と熱く語りました。

アートの森～創作ひろば～

滝畑の自然の中で、思いのまま自由に絵画や造形創作を行います。

とき 10月28日(土)・29日(日)、11月4日(土)・5日(日)▷いずれも午前10時～午後4時

ところ 滝畑コミュニティセンター

定員 各15人(先着順)

参加費 幼児～中学生=500円、高校生以上=1000円

申し込み 10月5日から電話で文化・スポーツ振興課へ

☎文化・スポーツ振興課

くろまる塾 教養講座

～芸術編～



©河内長野市2011

■芸術ってなんだ!?

末延さんのほか、はまはたけんきち浜畑賢吉さん、いせきかずよ井関和代さんが順次お話しします。

とき・内容 11月14日(火)=子どもの絵から見える心の世界、12月5日(火)=名画から作家の生涯や思いを読み解く、12月7日(木)=役者の眼が見た人間、14日(木)=役者の眼が見た男と女、1月16日(火)=移動する布、30日(火)=イメージから創造▷いずれも午後2時～3時30分

ところ キックス

定員 各100名(先着順)

参加費 各500円

申し込み 10月5日から電話でくろまる塾事務局へ▷キックスのホームページからも可

☎くろまる塾事務局

(キックス内、☎54-0001)

